

天文学とプラネタリウム

第58回



今月のお題

■寒い冬、露天風呂で天体観望会も良いかも？

丸の内から世界天文年を盛り上げよう！



さまざまなイベントが目白押しの世界天文年2009。天プラでもいろいろありますよ！ここでは東京都心でのイベントをご紹介します。



www.tenpla.net

高梨直紘 (国立天文台 広報普及室)

平松正顕 (台湾 国立清華大学)

世界天文年 開幕！

いよいよ始まった世界天文年2009、皆さんはいかがお過ごしでしょうか？私たち天プラも、天文年をまたとない機会ととらえているいろいろな企画を練っています。その中の一つが、東京丸の内のオフィスビルの1階で2月いっぱい開催される展示会とサイエンスカフェワークショップ『空と星と人と ～21世紀の宇宙観』です。会場はJR有楽町駅から徒歩1分、新有楽町ビル1階のNature Info Plaza 丸の内さえずり館。東京各地で神出鬼没の活動を続けるゲリラ天体観測隊「天の川急便」と協力して行う企画なのですが、今回はひとつのところにどっしりと腰をおろして丸の内に働く皆さんに天文年をアピールしていきたいと考えています。

この企画、実は3本立てです。ひとつは、一か月を通して開催されるポスターと写真展です。ガリレオ以前から人が見上げてきた宇宙の姿、ガリレオが開いた近代天文学の扉、そして大きく花開いた現代の天文学。天文学の知識はその時代ごとの世界観と密接につながっていますか

ら、単なる科学的な知見以上に天文学が人類の文化に果たしてきた役割なんかにも触れたいと考えています。

2つめは、サイエンスカフェ+ワークショップ「ガリレオを継ぐもの～21世紀の天文対話～」。

展示物だけでは伝えきれない天文学の生の姿を、若手天文学者との会話を通して楽しんでもらえるようにしたいと思っています。また、プラネタリウムキットやガリレオ望遠鏡を組み立てるワークショップも行います。

3つめは、実際に星を見る企画。残念なことにはこの号が発売される頃には申し込みが締め切られているのですが、都心でも星を見る企画が成り立つという意味でご紹介します。会場は東京のど真ん中ですが、皇居のお堀端まで行けば都会の光も少しは和らぎます。冬空に明るく輝く星たちを見上げながらガリレオが垣間見た宇宙に思いをはせてみたり、また便利な現代社会がもたらす光害について考えてみたり。都会でもできる星の楽しみ方もありますね。

各地の科学館やプラネタリウムなどで開催される関連イベントに参加するもよし、自分で望遠鏡を持ちだしてご近所やお友達に星を見せる



会場となる丸の内さえずり館。
皆様のご来訪をお待ちしております。

Nature Info Plaza 丸の内さえずり館

【住所】東京都千代田区有楽町1-12-1

新有楽町ビル1F

【Tel/Fax】03-3283-3536

【開館日】月曜～土曜 11:00～19:00

※日祝・年末年始は休館

【URL】<http://www.m-nature.info/>

もよし、より多くの人がいちろいなる宇宙の楽しみ方を見つけれられる1年になるといいですね。